

考えよう 野菜・技術



北部営農センター農産課
営農主幹 堀田 行敏

Webページ等 を活用する



W e b ページの特徴

インターネットなどに公開されている情報には有益なものが多くあります。ここで紹介することにも活用ください。

活用のポイントは、いろいろとクリックいただいて、どんな情報が載っているのか、遊び心とイメージでネットサーフしていただき、一つのページで完結するのではなく、複数のものから役立つ情報を抽出していただくことです。ただ、全てが正しいものばかりではありませんので、注意が必要です。

栽 培 マ ニ ュ ア ル

この情報は、たいへん多く発信されています。この分野では種苗メーカーのものが作物を熟知しており、留意ポイントの掲載も多く、おススメです。利用上の留意点は、全国を視野に入れてあるので、海部地域に合った情報を読み取ることです。

タキイ種苗の個別作物のPDF版は一枚の用紙に印刷でき、栽培全般がコンパクトに収められています。一つひとつの言葉にも注意してみてください。

この他にYouTubeがあります。動画で説明されており、解りやすいですが、栽培技術の一つを断片的に紹介しているものであること、投稿者の個人的技術が紹介されている場合もある点を理解しておきたいです。

病

害虫・生理障害

野菜の栽培中に困ることの多くが、病害虫の発生や生理障害への対応です。

★まずは予防が大切で、その第1歩は天気予報に基づく農作業の実施で、スマホの天気関係のアプリの活用が有効です。天気予報2週間、週間、明日、当日の時間帯別、そして雨雲レーダーは、ピンポイントで時間的降雨予想を確認できます。

★そして、病害虫の発生に関する情報です。「あいち病害虫情報」では、決められた病気や害虫の発生状況を一定の時期に県内の決められた場所を調査しており、その情報が月に2回発信されます。このページではその調査データを見ることもでき、地域性を確認したり、過去のデータとの比較もできます。

★次いで大切なのは、病害虫などが発生した場合の診断に基づく対応です。作物ごとの画像をもとに病害虫名を特定し、それに効果の高い農薬等で防除することです。

例えばタキイ種苗のページ「病害虫・生理障害」です。イラストや画像が多く、発生環境から病害の特徴、耕種的防除のポイントや効果的な農薬名まで網羅されており、実用性の高いページです。

病害虫の図鑑的なものは、多くあります。先の「あいち病害虫情報」の中にもありますし、大阪府植物防疫協会の「すぐわかる病害虫ポケット図鑑」などなど。これらには農薬名まで掲載されていないのが残念です。

最近注目なのがスマートフォン用の診断アプリ「レイミーのAI病害虫雑草診断」(無料)です。2020年4月から配信されており、この1月に対象作物が拡充され(水稲、キャベツ、ハクサイ、レタス、ブロッコリー、ネギ)、今後も追加されるとのこと。アンドロイドも 아이폰にも対応しています。圃場で病害虫や雑草の写真を撮影すると、AIが診断して候補を挙げてくれ、薬剤をリストから選定できます。留意点は、農薬の対象メーカーが現在は4社に限られていることです。

スマホアプリ



スマホアプリで意外に便利なのが、「**農薬希釈くん**」。農薬を二つのステップと4つの計算方法で、薬量、散布液量を求めることができます。皆さんが活用している優れたWebページやスマホアプリなどがありましたら、JAあいち海部のホームページのお問い合わせフォームからお知らせください。

お問い合わせフォームからお知らせください。

野菜栽培マニュアルや農薬希釈くんの情報はコチラ



病害虫関連の情報や病害虫雑草診断アプリの情報はコチラ

